

平成23年度水道事業会計決算報告

業務状況(表①参照)

平成23年度は、年間総配水量、年間有収水量、有収率、給水人口について、前年度を上回る結果となりました。その要因は、平泉寺簡易水道の上水道統合による使用水量の増加や、平成20年度から実施している漏水対策等によるものと考えられます。

財政状況(表②参照)

本年度の総事業収益は3億6136万3千円、総事業費用は3億5289万5千円と

なりました。この結果、当年度は純利益846万8千円を計上する結果となりましたので、利益積立金に積み立てます。

一方、資本的収入は6385万2千円、資本的支出は2億5634万8千円となり、この1億9249万6千円の不足額は、過年度分損益勘定留保資金や当年度分損益勘定留保資金、減債積立金で補填しました。

総括事項

毎年、安心できれいな水道水の安定供給を図りながら、勝山市水道事業の健全な財政基盤の確立に努めています。主な収入である水道料金収入は、平成23年度に実施した料金改定および平泉寺簡易水道の上水道統合により、対前年比6・47%の増収となりました。一方、支出においては、減価償却費や企業債の元金償還が増加し、経営は厳しい状況が続いています。今後も、清浄で安全な水の

供給を図るため、既存水道施設の維持管理の充実を怠ることなく、また累増する企業債の元金償還に要する費用および減価償却費に対応し得る経営基盤の確立が必要と考えています。なお、水道事業会計の健全な経営のため、平成23・24年度に水道料金の値上げを実施しています。水道事業会計決算の詳細については、市立図書館に備える決算書をご覧ください。
 上下水道課(市民会館2階) ☎88・8109

表① 業務状況

項目	業務量	前年度比
給水人口	23,151人	+0.94%
給水戸数	7,333戸	+1.96%
年間総配水量	3,100,458 m ³	+0.33%
年間有収水量	2,537,857 m ³	+0.45%
1日最大配水量	14,337 m ³ (平成24年2月20日)	-4.30%
有収率	81.85%	+0.12%
導送配水管延長	310,345.6 m	+4.37%

表② 財政状況

【収益的収支(税抜)】

区分	H23年度決算額	H22年度決算額
収入	3億6,136万3千円	3億3,506万円
支出	3億5,289万5千円	3億4,978万9千円
差引	+846万8千円	-1,472万9千円

【資本的収支(税込)】

区分	H23年度決算額	H22年度決算額
収入	6,385万2千円	3,623万7千円
支出	2億5,634万8千円	2億1,975万4千円
差引	-1億9,249万6千円	-1億8,351万7千円

表③ 主な拡張事業

事業名(工事名)	地係	事業費(工事費)
市道6-33号線ほか配水補助管布設工事	滝波町2丁目	386万3千円

表④ 主な改良事業

事業名(工事名)	地係	事業費(工事費)
牛ヶ谷水系 遠方監視制御機器・流量計更新工事	野向町牛ヶ谷	852万7千円
勝山市上水道中央監視制御システム改良工事	立川町2丁目	3,678万8千円

水道料金表 (税別)

メーター口径 ※50ミリ以上は省略	基本料金 10m ³ まで				超過料金 1m ³ につき			
	13ミリ	20ミリ	25ミリ	40ミリ	11~30m ³	31~50m ³	51~100m ³	101m ³ ~
H23年度	1,100円	1,250円	1,450円	1,650円	113円	128円	130円	155円
H24年度	1,150円	1,300円	1,500円	1,700円	120円	135円	140円	165円

※23年度：平成23年5月検針分(4月使用分)～平成24年4月検針分(3月使用分)
 24年度：平成24年5月検針分(4月使用分)～

9月定例議会

平泉寺荘および市民活動センターの機能を(財)奥越地域地場産業振興センターに統合し新たな展開へ



招集あいさつをする山岸市長

勝山市議会9月定例会が、9月4日から9月20日の日程で開かれました。

山岸市長は、招集あいさつの中で、奥越の二次医療圏の見直し問題に触れ、医療圏の市町村合併といえる方針を、国や県が有効な対策を講じないまま打ち出したことに対して苦言を呈しました。

また、奥越地域の医師不足についても、福井・坂井地区と統合されることで、奥越地域の医師不足が加速され、さらに救急・災害時の医療体制

も脆弱化し、介護サービスにも影響するなどの懸念を示しました。本年4月以降、地域医療協議会の活動を通じ、現在策定中の福井県保健医療計画に現在の枠組みを確保するよう、今後も県に対し強く要望していくと話しました。

9月議会では、全員協議会およびその他委員会において老朽化が進み、大規模改修が必要な平泉寺荘および市民活動センターの機能の一部を、来年4月1日に市に無償譲渡される(財)奥越地域地場産業振興センターへ移転する方向性を示しました。

◎平泉寺荘の機能一部移転ほかについて

この機能移転により同センターは、従来持っていた機能と合わせ、公共施設の効率的



現在の(財)奥越地域地場産業振興センター

活用のモデルとして、児童福祉、高齢者福祉、まちづくり、産業振興などの複合施設として運営される予定です。

決まった内容

・補正予算

主な内容として、認知症対応型デイサービスセンターの新設に対する助成や、各地区のLED街路灯設置補助金、定住化促進事業補助金の増額、新体育館建設にかかる土地購入費ほかの経費などで、一般会計1761万円を増額し、総額を117億5232万2千円としました。ほか5件の特別会計補正予算が可決されました。

・条例

勝山市母子父子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正が可決されました。

・その他

公平委員会委員の選任など2議案が同意され、意見書案3件が可決されました。陳情3件のうち2件が採択、1件が不採択となり、認定2件が継続審査となりました。

また、勝山市農業委員会委員の推薦を決定しました。(P14参照)

・委員の任命・選任

公平委員会委員の選任について同意されました。

北山 謙治氏
 安居 久繁氏
 門 善孝氏
 福田 稔氏 (平泉寺町赤尾)

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意されました。

澤田 裕治氏 (遅羽町傍崎)

市の指定ごみ袋に“結び手”

「ごみ袋を結びやすくしてほしい」という要望が市民から寄せられていました。そこで、本年度から結び手のついた指定袋に変更しました。なお、従来のごみ袋も変わらずにご使用できます。

